

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは蛇口から～

「災害時給水所」新標識デザインを決定しました ～約12,000人の市民の皆様にご投票いただきました～

横浜市は、発災時に市民の皆様が飲料水を確保できる施設として、災害用地下給水タンク等の「災害時給水所」を市内全域に整備しています。

これまで、防災訓練や様々な広報媒体を通じて、市民の皆様「災害時給水所」について、お知らせしていますが、平成26年度に実施した「水道に関するお客さま意識調査」（概ね3年毎に実施）では、「災害時給水所」の「具体的な場所を知っている」と回答した方の割合は、14.2%と非常に認知度が低い状況です。

そこで、このたび、「災害時給水所」の認知度向上を目的として、「災害時給水所」を表す標識の新しいデザインを決めるお客さま投票を実施し、投票結果により、新しいデザインを決定しました。

多くの市民の皆様視点の反映した新標識を、来年度から災害用地下給水タンクに順次設置していきます。

1 新デザイン

デザイン




コンセプト
<ul style="list-style-type: none"> ・水が得られることを表すシンプルなデザイン ・人型の配置による親近感 ・緊急性や災害時を表す

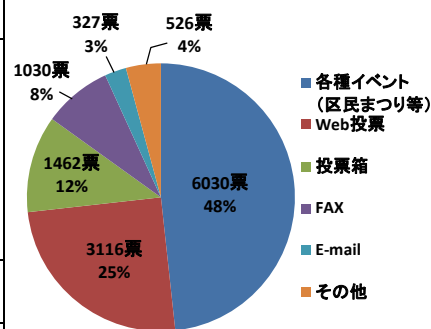
新デザイン標識設置イメージ図



裏面あり

2 お客さま投票結果の概要

投票期間	平成27年10月5日（月）から11月6日（金）		
投票結果	投票総数 12,491 票		投票方法内訳
	投票内訳		
			
	8,298 票 66%	2,336 票 19%	1,857 票 15%
抽選結果	全ての投票者から抽選でプレゼントする、横浜水缶及び給水リュックの当選者 30 名様の発表は、発送をもってかえさせていただきます。（住所、氏名、電話番号まで記入いただいた方に限ります）		

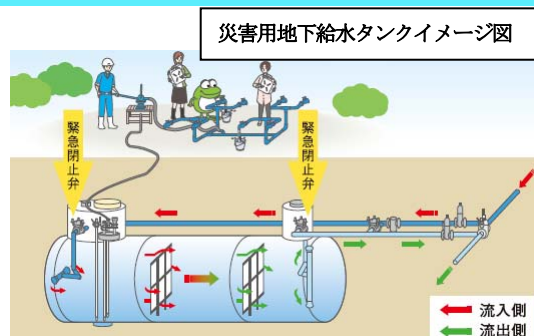


※12,000人を超えるお客さまに投票していただきました。また、投票期間中に開催された区民まつり等では、投票総数の約5割となる、6,000人あまりのお客さまに直接投票していただき、多くのご意見を伺うことができました。誠にありがとうございました。

3 新デザインの標識を設置する災害時給水所

新デザインの標識は、発災直後から「災害時給水所」として利用可能な、「災害用地下給水タンク」に、平成28年4月以降、順次設置していきます。

「災害用地下給水タンク」は、横浜市内に、概ね半径1キロメートル圏内を目安に、134基設置しています。



【参考】「災害時給水所」

施設の種類	設置数	想定使用開始時期	操作者	「災害時給水所」標識等での表示方法
災害用地下給水タンク	134 箇所	発災直後から	共助(市民の皆様)	標識
配水池	23 箇所	発災初期から	公助(水道局職員)	給水が可能となった時点で、のぼり等を設置します。
緊急給水栓	358 箇所	発災後概ね4日目以降	公助(水道局職員)	

4 新デザインの活用方法等

新デザインは、「災害時給水所」の標識として、「災害用地下給水タンク」に設置するほか、災害用パンフレット等、様々な広報媒体にも使用し、災害時の飲料水確保場所を、市民の皆様幅広く周知していきます。

この機会に、お住まいの地域で発災直後から「災害時給水所」となる「災害用地下給水タンク」の場所をご確認ください。

お問合せ先		
水道局保全課長	渡邊 知幸	TEL 045-633-0123